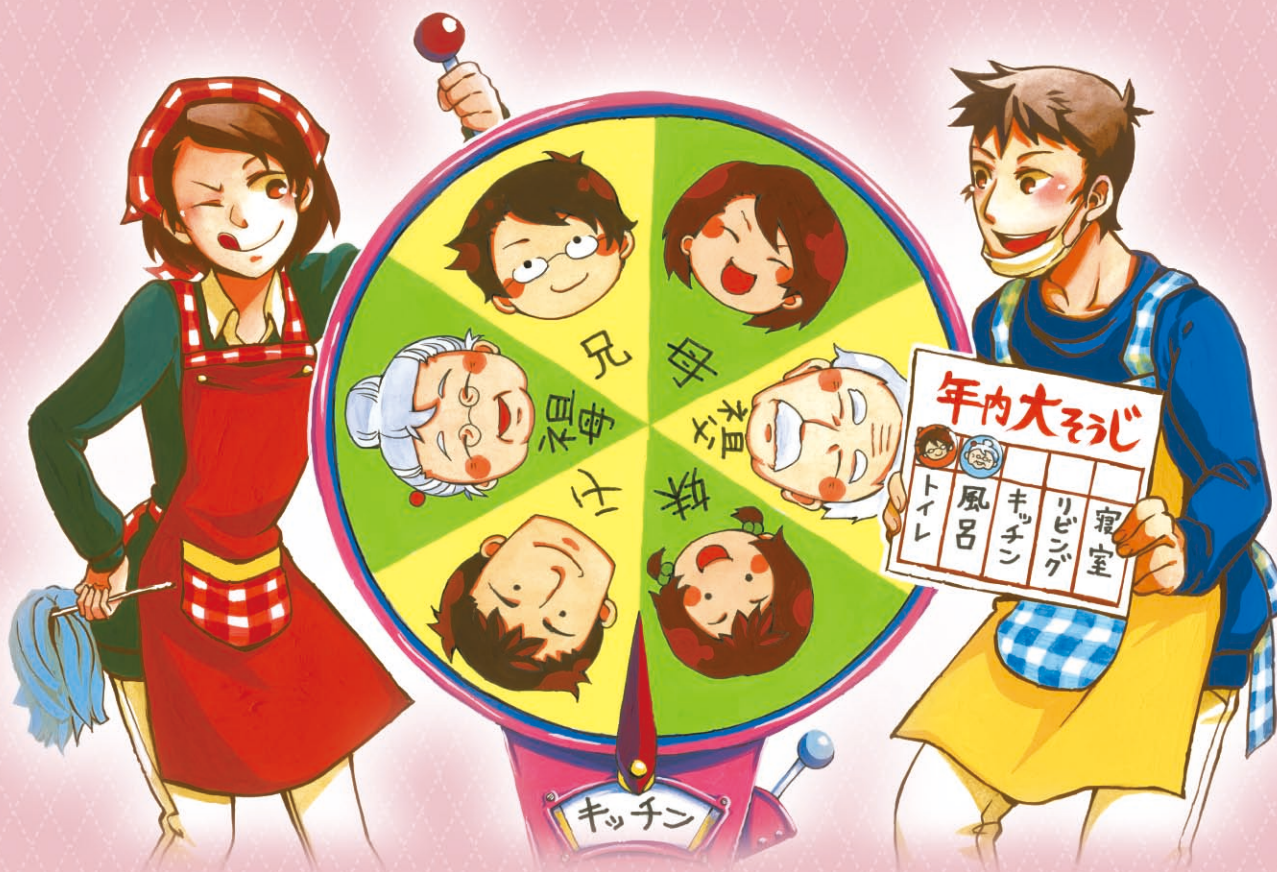


自分らしい生き方、応援します！

SOLE SCOPE

ソーレスコープ

第67号
2014.JANUARY



イラスト：「お掃除ルーレット」坂本美穂さん
(平成24年度ソーレ・イラストコンテスト最優秀賞)

特集

これってもしかしてデートDV?～気付くことから始めよう～

DV防止啓発講演会「DVとこども、そして性暴力～被災地におけるDV支援の状況～」

これってもしかして



～気付くことから始めよう～

ドメスティック・バイオレンス＝DVという言葉が一般的に聞かれるようになりました。つい最近も元交際相手によるストーカー行為や殺人事件が立て続けに発生しました。今回は、DVの中でも特に恋人間でのDV＝デートDVについて触れていきます。

ヤキモチは愛情表現？ ～携帯電話にまつわるDV～

恋人や友人との身近なコミュニケーション・ツールとして、今もっとも活用されているものの一つに携帯電話があります。ここ数年は、スマートフォンの普及によって、無料で手軽にメッセージをやりとりしたり電話をかけたりできるアプリケーションが広く利用されるようになりました。しかし、これらは便利な反面、使い方を誤るとストーカー行為などの犯罪に利用される危険性もあります。

交際相手に対して頻繁に電話やメールをして返信を強要したり、返信がないと不機嫌な態度をとったりすることは、精神的な暴力に当たります。ずっと一緒にいたいと思うあまり、離れているときでもつながりを持とうとして常に相手の行動を監視したり、他との交友関係を断つよう仕向けたりすることは、恋愛ではありません。束縛という名の暴力です。

あなたは大丈夫？ 携帯・スマホにまつわる暴力チェック！

- ☐ 日に何度も電話やメールなどのやりとりを強要する
- ☐ 電話に出なかったり返事がなかったりと怒る
- ☐ 今どこにいて誰と何をしているのか常にチェックする
- ☐ 相手の携帯電話の着信履歴やメールを見る
- ☐ 勝手に電話番号・メールアドレスなどを削除する
- ☐ GPS機能で追跡する

これらはすべてデートDVに当たります

その他にも、殴る・蹴る・物を投げる（身体的暴力）、脅す・侮辱する・大きな声でどなる・不機嫌な態度をとる（精神的暴力）、お金を出させる・あなた名義で借金をさせる（経済的暴力）、避妊をしない・無理やり性行為を強要する（性的暴力）など、さまざまな暴力が挙げられます。





デートDV はなぜ起こる？

デートDVに限らずDVを引き起こす要因は、社会のいたるところにあります。暴力で物事を解決してもかまわないとする考え方（暴力容認）や、力関係による支配、性別による偏見（ジェンダー・バイアス）などがそれに当たり、私たちは知らず知らずのうちに影響を受けています。

またDV・デートDVともに、「暴力のサイクル」があります。暴力を振るってひどい暴言を浴びせたかと思うと、その後すぐ「二度とあんなことはしないから」「痛かったろう。本当に悪かった」などと言って反省の色を見せたり、優しい言葉で引き止めたりすることも特徴の一つです。このサイクルは、少しずつ短くなる場合や、優しい時期がなくなる場合があります。繰り返し暴力を受け続けることで抵抗する力を失い、相手の元から逃げようという気持ちすら持たなくなってしまいます。



もしもデートDVに 気付いたら、遭ってしまったら

人には自分を大切に思う感情「自尊感情（自尊心）」があります。誰かにけなされたりバカにされたりすると、自尊心が傷つきます。ましてやそれが自分にとって大切な人ならなおさらその傷は深く、「自分が悪いから相手を怒らせてしまった」と自身を責めてしまったり、「自分が我慢していれば、いつかやめてくれるだろう」と誰にも言わずに我慢したりしがちです。自分の身に起こっている暴力に気付いてすらいなというケースもあります。少しでも「あれ？これっておかしいくない？」と思ったら、まずは誰かに相談してみましょう。また、相談機関では名前や住所を名乗らなくても相談することができます。

これは言わないで！

～友だちから相談を受けたとき～

そんな人とは
早く別れなさい！

よくある話よ。

ノロケにしか聞こえん。

愛されちゅうねえ。
うらやましい。

そんなこといちいち
気にすることないろう。



被害を打ち明けることは、とても勇気がいることです。そのため、相談相手に否定されたり真剣に受け止めてもらえなかったりすると、それ以上相談することができなくなります。

※サポートするには？※

- まずじっくり時間をかけて話を聴く。
- 「あなたは悪くないよ」と言う。
- 「いつでも力になるからね」と伝える。
- 専門の相談先へつなぐ。（相談先一覧は5ページにあります）



平成25年度DV防止啓発講演会

DVと子ども、そして性暴力 ～被災地におけるDV支援の状況～

11月17日(日) 13:30～15:30

講師 八幡 悦子さん(NPO法人ハーティ仙台代表理事)

毎年11月12日～25日の2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。これに合わせ、ソーレではDV防止啓発講演会を開催しました。今年度は、NPO法人ハーティ仙台代表理事の八幡悦子さんにお越しいただき、東日本大震災の被災地におけるDVや性暴力の被害者支援の状況についてお話しいただきました。



東日本大震災の日

東日本大震災が起きた3月11日、私は仙台市泉区という比較的高い位置にある町で、母子約15組を集めて講座の開催中でした。津波に関しては、小学生のときに経験したチリ地震程度の認識しかありませんでした。度々起きる地震で揺れに対しては慣れていました。講座の会場となっていた建物は、耐震チェックも充分で絶対につぶれないという自信がありました。仙台は転勤族も多いため、地震を体験したことがない人も多く、さすがにすごい揺れだったので、母子の間からは「キャーッ」という叫び声が聞こえました。でも私は「ここは絶対につぶれないから」「ここは倒れるものは何もないから、みんなでここにしようよ」と伝え、揺れが収まるのを待ちました。

被災地の状況

それから1年間は、本当に無我夢中でいろんな避難所へ出向きました。私は死ななかつたし、家があると思ったら、じっとしていられませんでした。全国から届いた支援物資を届けようと思い、下着などと相談先のフリーダイヤルを記載したカードをセットにし、配って回りました。いろいろな避難所へ行ってみて実感したことは、ほとんどの避難所でリーダーが男性だったことです。身内の女性が身を寄せた避難所にも行きました。プライバシーへの配慮がなく、震災後1カ月が過ぎても衝立も更衣室も授乳室もありませんでした。

60代の男性リーダーの「ここはみんな家族。衝立なんていりませんよね」という一言で、本当は欲しいのに言い出せなくなっていたのです。避難所においては女性や子ども、セクシャルマイノリティの方などの、少数派の人の意見がなか

なか通らないという状況がありました。その男性リーダーは復興大臣の視察が入った際、「食事時間に何事だ!」と言って追い返したことを、美談として周囲に話していました。本当は、避難所生活の現状を見てもらいたかったのに。リーダーに意見すると「和を乱す人は出て行ってもらいます」と言われ、周囲からも「やめなさい」と止められます。東北は黙って耐えるという人が多いのです。更に災害で疲れきって、意見を言わずじっと我慢していたのです。

震災の爪痕

被災県において震災の影響を受けていない人はいません。内陸部へ行っても、実家がなくなった、親戚を亡くした、仕事が減ったなど大きく影響していると感じます。DVもそうです。震災以前から存在していたものが、震災後に更にひどくなったというケースが多いのです。東北は家父長制が根強く残っていて、「長男の嫁だから辛抱は当然だと思っていた」と耐えていました。長年続いていたDVに、震災をきっかけに初めて気付いたというケースが複数あります。広がった自宅が流されて狭い仮設住宅に移った途端、DVがひどくなったというケースもあります。震災後DVの相談件数は増えました。相談件数が増えたということは良いことだと捉えています。「これはDVだ」ということに気が付いたのですから。

性暴力は人権・人格権の侵害

また、セクハラや性暴力も起きています。シングルマザーや独身の女性に対するセクハラ、ボランティア間のデートDV、「逃げたらカメラで撮った画像をばらまく」と脅すストーリーもあります。性暴力は警察に届けるのは、ほんのわずかです。氷山の一角なのです。

被災地に赴き、DV・性暴力の啓発活動を続けています。性暴力は、心を深く傷つけます。7割が身近な人間からの性暴力です。性暴力は被害者の落ち度を問われます。「なぜ逃げなかったの」と。しかし、首筋にナイフを突きつけられて抵抗できますか。命を守るために黙るしかなかったのに、「あなたにも落ち度があったのでしょ」「そんなところに行くか

らよ」「なぜそんな男について行ったの」と問われるのが、性暴力の特徴です。根強い強姦神話です。

被害に遭ったら、性暴力に詳しい医師・弁護士・警察官とつながることです。闘う方法は、直接交渉で謝罪文・慰謝料を請求する、応じなければ、刑事告訴と民事損害賠償請求の裁判をします。医師・弁護士・警察官の3人が、事実をきちと並べれば、加害者側のウソはバレます。被害者は心に受けた傷に対して、慰謝料をとれます。そしてもう一つ、何もしないことも選べます。そのような要点を、紙芝居、ロールプレイ、パンフレットで伝えています。

支援活動の中に見出す喜びをエネルギーに

私は元々助産師として10年病院勤務をし、その後フリーになり、小学校・中学校・高校・大学で性教育を30年続けてきました。自分自身のDV被害経験も経て、DV被害や性暴力の被害者を支援する活動を始めて25年になります。活動をする中で、知らないということがどれだけ危険なことか、を痛感しました。弁護士の利用の仕方、裁判での闘い方、警察の利用の仕方など、必要だと思うことは小学生・中学生にも説明します。女子大生でも学校で習わないので知らないのです。学校で教えないからです。

震災後は、片道2時間で行き来できていた町が、片道4時間かかるようになりました。これでは相談に来たくても来られません。そこで「こちらから出向いて行くしかない」と、今年、DV被害者等を支援するための連続講座と、被害女性の語りの場「パープル・タイム」を被災地で開催しています。

NPOの支援は、何年にもわたってDV被害経験者と関われる醍醐味があります。小学生だった子が社会人になっていく、女性たちの人生が変わっていく様子が見られます。いきいきと自立していく女性たちの姿を、そばで見守ることができる、これは私たちにとって大きなエネルギーになっています。

震災体験を通して、命より大事なものはないということ、そして人権を守るということを、私たちは次世代へと伝えていかなければならないと思っています。

1人/約7人中

● 身近にあるデートDV

上の数字は、平成23年に内閣府が全国の20代以上の男女5,000人を対象に行った「男女間における暴力に関する調査」のうち、「10歳代から20歳代の頃に交際相手がいいた（いる）」という人（1,949人）による回答です。このうちの13.7%（約7人に1人）が交際相手からのデートDVの被害経験があったと答えています。

さらに年齢階級別にみると、20～29歳では23.4%、30～39歳では23.8%と2割（約5人に1人）を超えていることから、若い世代ほどデートDVの被害経験があるということが分かります。

● ひとりで悩まないで

また、「交際相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか」という問いに対し、女性の62.3%は相談し、その相談先として「友人・知人」（49.3%）が最も多くいました。

一方、どこにも相談しなかったと答えた女性の割合は、34.2%で、その理由として、「相談するほどのことではないと思ったから」（38.0%）、「相談してもむだだと思ったから」（28.0%）、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」（28.0%）、「自分にも悪いところがあると思ったから」（26.0%）（複数回答）など、自分のせいにしてしまったり、ひとりで抱え込んだりする傾向がみられます。

ひとりで何とかしようとすることはとても危険です。別れようとするときにさらに暴力が激化することも多く、ストーカー行為や監禁、脅迫、殺人などに発展することもあります。ひとりで悩まず、専門機関や友人・家族などに相談することが大切です。

10歳代から20歳代の頃に交際相手から「身体的暴行」「心理的攻撃」「性的強要」のいずれかの被害（デートDV）を受けたことがあったと答えた女性の割合

相 談 先

こうち男女共同参画センター「ソーレ」	相談専用 ☎088-873-9555
高知県思春期相談センター「PRINK」	☎088-873-0022
高知県女性相談支援センター	☎088-833-0783
女性の人権ホットライン（高知法務局）	☎088-822-6526 ☎0570-070-810
高知ボランティアビューロー	☎088-824-4329
高知県警察本部（警察総合相談） （全国共通）	☎088-823-9110（24時間対応） ☎#9110（24時間対応）
レディースダイヤル110番	☎088-873-0110（24時間対応） ※女性警察官が対応

いかなる場合も、恋人間のトラブルを暴力で解決しようすることは許されることではありません。もしも、あなたの友だちや家族がデートDVを受けていたら、あなた自身が受けていたら、暴力を振るってしまったら…さまざまな立場でデートDVについて考えてみませんか。



講座のご案内

無料・託児あり

デートDV予防講座

「デートDVに気づいたとき、親や学校ができること」

日 時 2月8日（土）13:30～15:30

講 師 Big mama（被害経験者の家族）

定 員 30名（先着順） 申し込み 電話にて受付中

暮らしにひとさじ エッセンス

Recipe レシピ

畑のラー油の食べ方

原 材 料

しょうが、にんにく、ハーブ（無農薬・自家栽培）
菜種油、胡麻油（圧搾したもの）
唐辛子、ゴマ、山椒（高知産）、塩（高知産）

素材にこだわって丁寧に作り上げられた「畑のラー油」は、卵との相性も良く、卵かけごはんにぴったり！

寒い季節は鍋物の薬味に、暑い季節は冷奴、そうめん、冷やし中華など、その他にもチーズトーストに、チャーハン、カルパッチョ、お肉の下味、ドレッシングにと、いろいろな料理に幅広く使えます。

お味噌汁に加えると、どこかアジアなテイストに仕上がります。一度お試しあれ。

農薬・化学肥料を使わない天然素材のこだわりラー油で、いつもの食卓にひと味添えてみませんか。



ひとことアドバイス！

安心で安全な食材だけを使っています。辛さ控え目なので、小さなお子様でも食べられます。



フルヤジ ORGANICS

☎080-3418-3651

出店場所

日曜市・木曜市・土曜市・
その他イベント等

U R L

<http://machangjugem.jp>

レシピ提供 大宮まさよさん（フルヤジ ORGANICS）

ユリ農家をやっていた父が亡くなったのをきっかけに、神奈川からUターンして今年で7年目になります。畑のことは主に夫に任せて、私は食品の加工をやっています。オーガニックにこだわり、農業も化学肥料も一切使わずに育てた米・麦・野菜・みかんや小夏などの果樹等は、害虫や天候によってうまく収穫できないこともあります。その分安心して口にすることができる食材ばかりです。

私がオーガニックにこだわるようになったきっかけは、一番上の子どもがアトピーだったことです。できるだけ薬を使わずに、安心できるものを使って治してあげたいという思いから、石鹸やボディクリームなど、オーガニック素材でいろんなものを作って試しました。その甲斐あって、今はもうほとんど症状もなくなりました。

畑や田んぼの大きかりな作業は家族みんなで取りかかります。子どもたちも泥んこ遊びやお芋掘り、田植えに稲刈りなどそれなりに楽しみながら手伝ってくれます。自然とふれあいながら、のびのびとたくましく育っていったらなあ、と思っています。

講座のご案内



無料託児付
(1歳～就学前児童・予約制)

ソーレまつり2014

～ソーレでつなぐ 地域のきずな～

1月25日(土) 9:30～16:00 >> 1月26日(日) 9:30～16:00

ワークショップ、ミニコンサート、バザー、活動発表など、ソーレ全館で楽しいイベントが盛りだくさん！気軽に参加ください！両日とも、先着100名様に素敵なプレゼントがあります！

ソーレまつり記念講演会

毎日がイベント！家族で楽しむ食育児

夫婦で育児や家事をし、その喜びや楽しみを分かち合うことで、お互いの理解が深まります。食を通じた家族のコミュニケーション法、夫をイクメンにするコツなど、ご自身の経験をもとにお話いただきます。



無料



日時 1月26日(日) 13:30～15:00 (13:00開場)

講師 コウケンテツ(料理研究家)

定員 200名(予約優先) 申込 電話にて受付中

●この他にもさまざまな講座を開催しています。詳しくは、ソーレホームページ・セミナーガイド(4月、10月発行)をご覧ください。

●お申し込み・お問い合わせはソーレ (088) 873-9100 まで

女性のための健康講座

もっと知りたい！女のカラダ全国キャラバン in 高知
～上手に女のカラダと付き合うために～

第1部 女性のカラダ基礎講座&カラダからの手紙
～体調がしらせるココロのSOS～

日時 3月9日(日) 13:00～15:00
講師 清田真由美(春日クリニック院長)、高見陽子(ウィメンズセンター大阪)
対象・定員 女性80名(先着順) 申込 電話にて受付中

第2部 自分らしく不妊と向き合うために

日時 3月9日(日) 15:10～16:00
ゲスト 道草ヤスコ(『Y妻日記』著者)
ファシリテーター 高見陽子(ウィメンズセンター大阪)

対象・定員 女性30名(先着順)
※妊娠中の方、お子さま連れの方はご遠慮ください。

申込 1月11日(土) 午前9時～電話にて

イラスト：「演奏会」
谷脇由華さん
平成24年度ソーレ・イラストコンテスト
ソーレ特別賞



イラスト：「夢への扉」
植木悠さん
平成24年度ソーレ・イラストコンテスト
ソーレ特別賞



☐ ソーレ・メールマガジン
「FROMソーレ 携帯版」

講座情報を定期的にお届けします。
購読は無料！



登録はこちらから！

規約に同意して登録を選択後、空メールを送ってください。



施設利用のご案内



- 利用時間
9:00～21:00
(土・日・月曜日9:00～17:00)
- 休館日
第2水曜日／祝日／12月29日～1月3日
- 図書・情報資料室
9:00～20:00 (土・日・月曜日9:00～17:00)
※ただし登録カード発行及び再発行の受付は、17:00まで
- 相談室
9:00～17:00 (専用電話／088-873-9555)
※第2水曜日、祝日、12月29日～1月3日は休室です

● アクセス

土電電車…「旭町3丁目」下車100m
県交通・土電バス…「旭町3丁目」下車50～200m
JR…「旭駅」下車400m

駐車スペースが少ないため公共交通機関をご利用のうえ、ご来館ください。



発行

(公財)こうち男女共同参画社会づくり財団 Tel.088-873-9100 Fax.088-873-9292

〒780-0935 高知市旭町3-115 ホームページ <http://www.sole-kochi.or.jp> ・ Eメール sole@sole-kochi.or.jp

発行日 平成26年1月10日